

2025-2026 関根信行年度 第 21 回

通算 2899 例会

令和 8 年 1 月 22 日(木)
1 月第 3 例会

本日の例会

例会場 料亭ふな又
点鐘 18:00
テーマ 児童養護施設いわつきの現況について
主管 社会・国際奉仕委員会

- ・ロータリーソング
手に手つないで
- ・四つのテスト・ロータリーの目的
内藤 明 会員
- ・本日のお客様
児童養護施設いわつき
園長 山本光亮 様

次回例会案内
令和 8 年 2 月 5 日(木)
例会場 料亭ふな又
点 鐘 12:30
テーマ 新会員卓話

2025-2026 年度 岩槻ロータリークラブ

会長 関根信行
幹事 小林 篤
会場出席・公共イメージ委員長 星 和彦
例会場 ふな又
例会日 木曜日
点 鐘 第 1・第 2 12:30
第 3 18:00

クラブ事務所

さいたま市岩槻区本町 3-8-2-203
TEL 048-758-0680
FAX 048-758-0681
MAIL info@iwatsuki-rotaryclub.jp



会長の時間

第 63 代会長 関根信行

皆さま、こんばんは。会長の関根信行です。
本日も例会にご出席いただき、誠にありがとうございます。



本日は 1 月 22 日。寒さが最も厳しい時期であり、能登や阪神淡路の記憶から「防災」への意識が高まる時期でもあります。

また、昨今のニュースを見れば、生成 AI やロボット技術の進化が連日報じられています。時代は急速に変化し、便利な世の中になる一方で、人と人との温かいつながりや、災害時の助け合いといった「人間らしさ」の価値が、改めて問われているように感じます。

さて、最新のロータリー情報です。
国際ロータリーでは現在、「ロータリー行動計画」を強く推進しています。キーワードは「インパクト（成果）」「広がり（参加）」「順応性」の 3 つです。
時代に合わせてクラブの形を柔軟に変えつつ（順応性）、会員以外の人たちとも手を取り合い（広がり）、地域に目に見える良い変化を起こす（インパクト）。これが今の私たちが目指す姿です。
もちろん、ポリオ根絶への「あと少し」の支援も、変わらぬ私たちの使命です。

ここで、岩槻に話を戻しましょう。
昨年 11 月の米山梅吉記念館への訪問で学んだ「奉仕の理想」。
地区大会で植松努さんが語ってくださった「思うは招く」。
そして青少年作文コンクールで見せてもらった「次世代のまなざし」。
これらに共通するのは、AI や技術がいかに進歩しても、最後に人を動かすのは「共感」と「物語」だということです。
私たち一人ひとりが、クラブの魅力と地域の未来像を自分の言葉で語れること。それが、最強の会員増強であり、クラブの活性化につながります。
そこで、今日からできるアクションを 3 つ、お願いさせていただきます。

1. 「自分の言葉」を持つこと。
2. 「仲間」をイメージすること。
仕事や地域活動の中で「この人と一緒にやりたい」と思う方に、ロータリーの活動（ポリオや青少年育成など）を一つ紹介し、気軽に見学に誘っていただく。
3. 「温かく」迎えること。
新しく来られた方が安心できるよう、私たちが先に声をかけ、席や流れを自然にご案内しましょう。

小さな行動の積み重ねが、クラブの雰囲気をつくり、地域への力になります。
Unite for good（よいことのために手を取りあおう）

テクノロジーの波にのみ込まれるのではなく、奉仕の精神で舵を取り、岩槻の未来を共に形にしていましましょう。

本日もどうぞよろしくお願いいたします。

1. R I 第 2770 地区から第 35 回インターアクト日韓国際青少年交換訪日団歓迎会、お別れ会のご案内が届いております。
 - ・熊木ガバナー主催歓迎夕食会
日時 2 月 7 日(土) 会費 15,000 円
 - ・小林団長主催フェアウェルパーティ
日時 2 月 11 日(水) 会費 15,000 円
2. 地区三枝年度のセミナー日程
 - ・地区スタッフ・地区役員出向の方
2/25 (水) 地区チームラーニングセミナー
 - ・会長エレクト
3/16・17 (月火) 会長エレクトラーニングセミナー
 - ・次年度クラブ委員長・副委員長
4/10 (金) クラブラーリーダーシップラーニングセミナー
3. 第 2530 地区ガバナーより第 13 回全国インターアクト研究会・福島会議開催のご案内が届いております。
4. 公益財団法人ロータリー米山記念奨学会よりハイライト米山 310 号
5. R I 日本事務局財団室ニュース 1 月号
6. (公社) さいたま観光国際協会より I E C ニュース
7. 大宮西ロータリークラブ、大宮東ロータリークラブより 2 月の例会予定表が届いております。
8. 大宮東ロータリークラブより週報が届いております。

以上



児童養護施設いわつき 園長 山本 光亮 様



皆様こんばんは。児童養護施設いわつき施設長の山本でございます。本日はお招きいただき、心より御礼申し上げます。少し緊張しておりますが、施設の現状や子どもたちの姿をお伝えできればと思います。まず、昨年度に賜りました多大なるご支援に深く感謝申し上げます。皆様には施設にお越しいただき、球舞さんの迫力あるパフォーマンスや、駄菓子屋での仮想通貨を使った買い物体験など、子どもたちにとって忘れられない機会をご提供いただきました。衣食住は整っていても、「自分で選び、自分で買う」という経験が乏しい子どもたちにとって、これらの体験は主体性や自信を育む大きな学びとなりました。昨年 12 月には、クリスマスのサプライズとして再び球舞さんにお越しいただきました。雨で屋外パフォーマンスは叶いませんでしたが、会議室でのトークやミニパフォーマンスに子どもたちは大興奮でした。「また来てくれた」と喜ぶ姿や、サインを大切に抱える表情は、今も職員の心に残っています。今年 3 月の春休み企画も、子どもたちと職員一同楽しみにしております。

続いて、施設の概要について触れさせていただきます。当施設には現在 80 名前後の子どもが生活し、同じ敷地内には乳児院も併設されています。児童養護施設では 11 人を 1 つの「大家族」として 8 つの家に分かれ、担当職員が日々の生活を支えています。県内では小規模ユニット化が進む中、当施設は比較的大規模な体制を維持しています。子どもたちは、親御さんがさまざまな事情で育てられない状況にあり、保護されてきた子どもたちです。職員が親の代わりを務めますが、完全に代わることはできません。それでも、安心して成長できる環境を整えるため、日々の関わりを大切にしています。ただし、私たち職員だけでは限界があり、地域の皆様のご理解とご支援があってこそ、子どもたちに豊かな経験を届けることができます。

日本全体に目を向けると、子どもの貧困率は 11.5%、10 人に 1 人が相対的貧困の状態にあります。給食以外で栄養のある食事がとれない、進学を諦めざるを得ないなど、厳しい現実があります。また、将来への希望を持たず学ぶ意欲を失う子ども、生活習慣が身につかないまま成長する子ども、人とのつながりが極端に少ない「孤立」の状態にある子どもも増えています。これらは大人になってからも影響し、貧困の連鎖を生む要因となります。

社会的養護が必要な子どもは全国で約 4 万 2 千人ですが、その背後には支援が必要でありながら表面化していない家庭が多数存在します。「要支援児童」は約 20 万人とされ、早期支援の重要性が高まっています。さいたま市では全 10 区に「子ども家庭センター」が設置され、妊娠期からの支援体制が整いつつあります。

当施設としても、地域の子育て家庭に向けた交流会や育児講座など、小さな取り組みを始めています。「子どもが暮らしやすい社会」は、すべての人にとって暮らしやすい社会です。

最後になりますが、私たちは微力ながら子どもたちの未来のために何ができるかを考え続け、皆様のお力をお借りしながら取り組んでまいります。子どもたちは将来、社会の一員として貢献できる存在です。その未来を支えるため、引き続き努力してまいります。

本日はご清聴いただき、誠にありがとうございました。



スマイルBOX

- 池田智昭 本日もよろしくお願いいたします。
- 小林 篤 山本先生、本日はよろしくお願いいたします。
- 関根信行 前回の例会、遅参しました事深くお詫び申し上げます。本日児童養護施設山本園長よりお願い申し上げます。
- 津多一幸 山本先生よりよろしくお願いいたします！
- 内藤 明 山本園長先生、本日の卓話よりよろしくお願いいたします。
- 中村 正 お客様ようこそ！
- 松永 豪 本日もよろしくお願い致します。
- 三浦宣之 本日はよろしくお願いいたします。
- 村上 泉 本日も宜しくお願い致します。

出席報告

会員数	出席数	免除者	MU	出席率
25	9		4	52.00%

スマイル報告

本日のスマイル合計	15,200 円
年間累計額	511,200 円